

日智商工会議所&中央日本人会親睦会

渉外委員会
カマラ事務局
土崎 良雄

今年も”すき焼き大会”として知られる恒例年次行事、「日智商工会議所（カマラ）&中央日本人会（日本人会）親睦会」が、6月29日（金）Alcantara 772番地にある日智文化会館で19時半から開催されました。

第27回を迎えるこのイベントは、毎年のカマラと日本人会の皆さんとの交流の場です。十数台の円卓をカマラと日本人会の皆さんですき焼きを囲んで、ビール、ワイン、ジュースで喉を潤し、久しぶりのすき焼きに舌鼓を打ちながら歓談し、時間とともに盛り上がっていきます。

今年の参加者数は会館1階ホールを埋め尽くす双方合わせて老若男女127人、16台のテーブルにカマラと日本人会の皆さんが着席され、初対面の挨拶や久しぶりの旧交交歓が会場に溢れます。

毎回趣向を凝らしながらイベントが企画されますが、今年は各関係先御挨拶に続き、100ペソじゃんけん大会、ゆかた着付け競争（新企画）、抽選会が実施されました。

さて司会は2016年にもご一緒いただき2回目のベテランコンビ、日本語の司会はカマラから櫻井さん、スペイン語の司会は日本人会からレティシアさんに担当いただき、はじまりました。

日本人会会長 パブロ・サカモト氏による御挨拶から、在チリ日本国大使館 平石 好伸大使の乾杯の御挨拶へと続き、すき焼きが開始されました。



それぞれのテーブルの鍋では早速肉を焼く音や湯気が立ち上り、おいしいにおいが広がる中で皆さん和気藹々とすき焼きを楽しまれました。



おなかも一段落、お待ちかねのゲームが始まります。名司会、レティシア・櫻井ペアの呼びかけから、最初のゲームである「100ペソじゃんけん」ゲームが始まりました。



各自 100 ペソを手に握りしめ、テーブル内のメンバーとじゃんけんをして勝った人が負けた人から 100 ペソを頂戴し、次は各テーブルの勝者が会場の前に出て最後の一人まで競いあう勝ち残りゲームです。司会の機転で 1000 ペソ持参の途中参加リベンジ者も OK となり更に熱戦が繰り広げられました。今年は 2 年連続のお子さんに代わって男性の大人が優勝、満面の笑顔です。

続いて二番目のゲームは日本人会さん提案の新趣向、「ゆかた着付け競争」です。制限時間 10 分以内に各テーブル毎の代表一人に趣向を凝らした着付け、お化粧も OK のゲームです。

用意いただいた浴衣と帯が各テーブルに配られ早速開始。各テーブルのモデルは男性です。女性の方が着付け、お化粧と、それぞれ思い思いに変化、変身と趣向を加えていきます。

完成したモデルは順番にテーブルに上り、厳しい女性審査員による審査、会場に応援の歓声と興奮と笑いがはじけました。最後に入賞者が決定され、カマラ渉外委員会担当 高瀬理事より賞品が渡されました。



最後のイベントは、入場時に皆さんに配られた抽選券による、豪華商品の抽選会です。今年も沢山の関係先から賞品をいただき感謝です。当選者の方々の笑顔と同じテーブルの皆さんの拍手が会場にあふれます。



あっという間のおいしいすき焼き、楽しい語らい、にぎやかなゲームと抽選会でした。締めくくりにカマラ会頭 大纏様による御挨拶があり、最後にはこちらも定番となっている「上を向いて歩こう」の大合唱をもって、和やかな雰囲気の中、本会も無事終了に至りました。



なお今年もまた抽選会にはたくさんの賞品協賛をいただきました。レストラン将軍様、五右衛門様、居酒屋横様、Gaon様、ラーメン金太郎様からそれぞれお食事券を、タキイ種苗様からは新鮮な白菜をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

来年もまたすき焼き大会でお会いしましょう。